

横浜市たまプラーザ地域ケアプラザ 1周年記念紙

平成26年6月15日発行



社会福祉法人 緑成会

横浜市たまプラーザ地域ケアプラザ

〒225-8530

横浜市青葉区新石川2丁目1-15

たまプラーザテラスリンクプラザ4階

Tel 045-910-5211

～ご挨拶～ 季節は梅雨に入り家々の紫陽花が私達を楽しませてくれます。私は田舎育ちなので、この時期になると田植えの後の田んぼの苗がすくすくと伸びて行く様子や、夕方蛙が鳴いたりホタルが舞ったりの6月を思い浮かべます。

おかげさまで、横浜市たまプラーザ地域ケアプラザも開設して1年3ヶ月を迎える事が出来ました。この間、地域の保健福祉関係や自治会活動を中心に団体数(200)、個人ボランティア数(108名)の登録があり、1ヶ月2600名前後の利用者で賑わっています。

また、地域包括支援センターでは、福祉・保健の専門員がお困りごとを中心に様々な相談を無料で受けています。ケアプラザまで来られない人のために訪問相談も行います。

地域と福祉をつなぎ
未来に向かって
共に育む
活気あふれる街つくり

2年目を迎え、より地域の皆様の身近な
交流・相談の場として乳児から高齢者まで

どなたでも気軽に『プラぶら』っと

ご利用ください。



横浜市たまプラーザ地域ケアプラザ

所長 田中ひろみ

地域人応援隊



ボランティア団体“ソフリット”「カフェ」



おりがみであそぼう！ たまプラおりがみ隊

みんなで歌を歌う会「たんぽぽ」



登録団体の



大人の語りの会



“おやこあそび場”での
ボランティア活動

第1回

たまプラーザ地域ケアプラザ

まつり



横浜市たまプラーザ地域ケアプラザ

1年のあゆみ

平成 25 年
2月 28 日

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

平成 26 年
1月

2月

3月



開所式

横浜市たまプラーザ地域ケアプラザ開所

公民連携事業「どにち☆ひろば」開始

うたを歌う会「たんぽぽ」

「たまプラさくら会」「ボールで貯筋体操」
等の自主事業開始

「唄声サロン」「健脚度測定」等の
自主事業開始

「たまプラ元気塾」「新地域人応援講座」等
の自主事業開始

「あおばおもちゃのひろば」
@たまプラーザ等の自主事業開始

夏休みの小中学生等の対象各種事業開催

「発達の気になる小学生の親子体操教室」
「認知症サポーター養成講座」等
の自主事業開始

ボランティア養成講座実施

「たまプラおりがみ隊」登録開始

150 団体を超える登録団体数となりました

第 1 回地域ケア会議開催



「たまプラさくら会」が
“元気づくりステーション”として活動開始

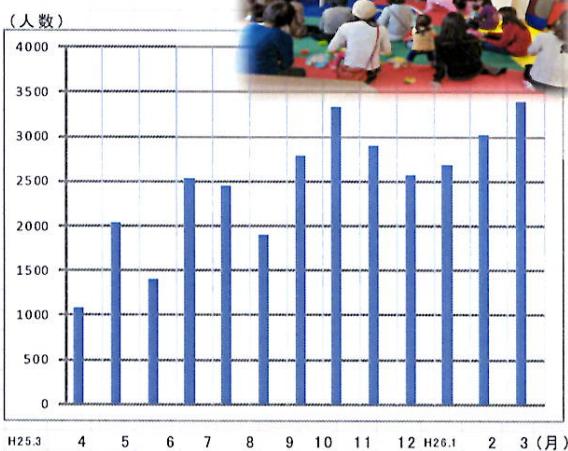
中学生の職場体験学習受け入れ

「どにち☆ひろば」子育て支援連携事業
全国会議で登壇

第 1 回 たまプラーザ

地域ケアプラザまつり開催

貸館延べ利用件数



地域包括支援センター

～住み慣れた街で、その人らしい暮らしができるように～
地域との出会い、繋がり、役割発揮、ネットワークづくりを
目指す一年でした。年間を通じ、“介護予防事業”展開、“認
知症サポーター養成講座”を実施しました。老人会にお招き
頂き “ミニ講座”をさせて頂いたり、民生委員等の情報から
支援のきっかけができたりと地域の方々に少しづつ活動が、
浸透しつつあります。皆様の身近な相談窓口であると共に高
齢者が安心して暮らせる地域づくりを目指します。

地域活動交流部門

～主役は、地域の方々～



福祉・保健活動の場を提供し、

地域での活動を行いやすくする様々なお手伝いをさせて
頂いています。乳幼児、障がいのある方、ご高齢の方等々、
“地域にお住いのどなたでも” “安心して” ご来館頂くことが
できるよう、様々な事業を年間 150 回程、展開しています。
また、それぞれの団体や個人が、その方らしく、いきいきと、
安心して生活できるよう専門機関等と連携を図り、調整やコ
ーディネートをしています。

皆さまの生活や地域活動に “地域ケアプラザ” を活用し、
お役立てください。

居宅介護支援事業

～その方の望む在宅生活の実現～

要介護 1 ~ 5 の介護保険認定を受けた方の在宅生活の支援
を担当しています。その方の望む生活の実現を目指し、状況
に沿った “居宅サービス計画書” を作成しています。

3 名のケアマネジャー(介護支援専門員)が連携をとりなが
ら、支援させていただいている。



地域包括支援センター延べ相談件数

平成 25 年度の相談件数(電話・面談・訪問)は、1,411 件で
毎月、平均 117 件の相談を受けています。

相談が一番多かったのは、12 月で 192 件でした。

相談は、年末に集中する傾向があるようです。



認知症サポーター養成講座

平成 25 年度の実績

認知症の方が安心して生活できるよう認知症への理解を深め、

地域で支えることを目的とした「認知症サポーター養成講座」
を銀行・郵便局・地区社会福祉協議会・老人会で開催しました。

約 130 名の方が “認知症サポーター” となっています。